徳之島虹の会事務局
2020 年６月発行
第２３号

新型コロナウイルスの影響で、連日不安なニュースが流れています。国内では、緊急事態宣言が解除されましたが、まだまだ油断できない状況が続いている地域もあり、遠く離れた家族や友人、日頃より虹の会を応援してくださっている会員のみなさまのことを思い、胸が痛みます。

徳之島では現在発症例はありませんが、島外からの観光客の減少によりガイド業は停止状態となり、地域の子どもたちを対象にした環境学習などの各種イベントも中止となっています。

そういった事情もあり、新年度が始まって虹の会も暇になるのかと思っていたのですが…
逆に、徳之島で調査・研究を行っている大学や研究機関から「島に行くことができないので、代わりに作業をしてもらえないか」という依頼が次々とあり、結構忙しい日々を過ごしています。

１日も早く日常が戻り、みなさまと一緒に笑顔で活動ができる日がくることを楽しみにしています。

＊4/22　第 10 回理事・社員総会

今回の通常総会は記念すべき第 10 回目でしたが、新型コロナウイルスの影響もあり、３密を避け人数を制限して開催しました。

令和元年度の活動報告や収支決算報告について確認し、２年度に予定している事業や大学や研究機関と連携して行う調査、エコツアーの対応や小中学校の出前事業など、いつも以上に議論に熱が入り、いつも通り３時間を超える長い会議になりました。

本年度もまた忙しい１年になりそうです。
多くの会員のみなさまに支えられ、虹の会の活動も 10 年目に突入します。いつも初心を忘れることなく、島の子どもたちのために力強く進化を続けていきたいと思います。

活動報告（2020 年２～５月）

2/ 3　天城岳調査・イボイモリ調査
　　エコツアーガイド連絡協議会総会出席
2/ 4　犬田布岳カメラ点検
2/ 5・6　アマミヤマシギ全島カウント調査
2/ 5～26　徳之島３町世界自然遺産登録推進・次世代育成事業報告書作成・提出
2/ 8　エコツアーガイド研修会参加（剥岳林道）
2/ 9　環境省・世界遺産の勉強会＆森あるき（剥岳林道）
2/14　エコツアーガイド研修会参加（松原登山道）
2/15　環境省・世界遺産の勉強会＆森あるき（寝姿山）
2/17　エコツーリズム推進協議会出席
2/20　伊仙小学校・遠足下見
2/22　JICA 研修・エコツアー
2/23　JICA 研修・意見交換会
2/23　“とくの島”観光・物産フェア in 東京出展
2/27～　環境省各種事業報告書作成
3/ 3　あましん地域貢献賞贈呈式
3/ 3　三京林道調査
3/ 6　剥岳植物調査＆清掃
3/ 6　西遊旅行ナイトツアーガイド
3/28　ナイトツアーガイド
4/1・2　南海日日新聞取材対応
4/17　井之川岳空き瓶回収・南日本新聞取材対応
4/20　令和元年度決算監査
4/22　第 10 回理事・社員総会
4/27・28　事務所大掃除
5/4　植物調査
5/13・14　森林総研カメラ交換作業
5/21　佐賀大受託作業
5/26・28　カムィヤキの森調査
5/28　徳之島高校座談会、Youtube ライブ配信への参加

＊３/３　あましん地域貢献賞贈呈式

このたび奄美信用金庫（本店・奄美市）より、“あましん地域貢献賞”を頂けることになり、政理事長が３日、奄美市のホテルで開かれた贈呈式に参加してきました。

この賞は、同金庫が 2004 年から地域活性化・地域再生化、社会福祉や文化活動などで、地域への貢献度が高いと認められた個人や団体を表彰しているもので、虹の会の日頃の活動を「徳之島の自然を未来へつなぐ価値ある活動」であると、高く評価していただきました。

このような素晴らしい賞をいただけたのは、いつも虹の会の活動にご理解くださり、島内外から熱い応援をしてくださっている会員のみなさまのおかげです。今後も、一歩ずつ地に足をつけた活動をしていきたいと思います。

＊３/６　剥岳植物調査&清掃　＊４/17 井之川岳空き瓶回収

イベント関係が中止になり、外での活動が無くなったので、この機会を活かして普段なかなか行けない山に行ってきました。今回の目的は、植物調査や山の中に捨てられたごみの回収で、剥岳林道では数十年前から投棄された大量のタイヤを、井之川岳の頂上からはたくさんの空き瓶を回収しました。
片道１時間の山道を歩いて運び出す作業は、虹の会のシルバー部隊だけでは困難なため、今回は若い人に協力をお願いしました。行きは植物調査をしながら、一斉に芽吹く新緑のエネルギーをしっかりと吸収。森から元気を分けてもらったぶん、帰りはそれぞれ重い荷物を背負って下山しました。

積極的に作業をしてくれる青年たちが頼もしく、本当に嬉しい気持ちで胸がいっぱいになったボランティア活動でした。

ご寄付いただき ありがとうございました

羽村　謙二	様	（東 京 都）
池村　　茂	様	（徳之島町）
鈴木　恵子	様	（千 葉 県）
太田　正孝	様	（東 京 都）
平山　徳廣	様	（東 京 都）
沢登　良馬	様	（東 京 都）
宮川　貴之	様	（宮 崎 県）
太平電機株式会社	様	（神奈川県）
徳之島どうぶつ病院	様	（徳之島町）

新規ご入会ありがとうございます

稲毛 桂子	様	（東 京 都）
亀崎 萌衣	様	（東 京 都）
秋津 忠博	様	（徳之島町）
松澤 尚明	様	（伊 仙 町）
稲富 昭宣	様	（伊 仙 町）

６月５日
現在の会員数
100 名

虹のつぶやき

Vol.23　『10 年分の遺産』　by jimukyoku

2011 年３月に徳之島虹の会が発足し、今年で活動が１０年目に突入しました。手探りでスタートした私たちの活動も年々規模が大きくなり、設立当初には考えられなかったような事業にも取り組むようになりました。そのせいか、事務所はいつも書類でごった返しの状態。←片付けが下手なだけでは？という声も聞こえてきそうですが…(^^;)

今回、コロナウイルスの影響で予定していたエコツアーや出前授業が中止になったので、一念発起し、これまでの書類や道具を整理することにしました。

古い書類は整理し、清掃会用の看板や事業等で使用する道具類は、倉庫を補修し移動しました。10 年分の遺産ともなると量が多い上に、作業するスタッフが物を捨てられない集団

２日間かけてようやくスッキリしました！

あとは、事務所の美しい環境をいつまで維持できるか…
環境保全の難しさを痛感する毎日です(笑)

賛助会員（年会費：5,000 円/１世帯）の募集、ならびにご寄付を受け付けています。当会の活動にご理解ご賛同いただける方のご入会、ご寄付、またはご紹介をどうぞよろしくお願いいたします。詳しくは、下記当会事務局へお問合せください。

NPO 法人　徳之島虹の会
Tel＆Fax：0997-86-3575
Mail：shimaniji@gmail.com

facebook ページはじめました

徳之島の野山を彩る植物・春～初夏編

アマシバ
南西諸島に分布。名前は新芽を噛むと甘いことに由来。

オオシマウツギ
他にも奄美大島、喜界島に分布。枝が垂れ下がり、花が大量につく。

ギーマ
スズランのような花。果実は赤～黒く熟し食べられる。縁起物の木。

オニキランソウ
琉球（奄美群島）に分布。湿った林内や渓流沿いの湿地を好む。

オオカナメモチ
徳之島に多く自生が確認されている。数年ぶりに開花を確認。

アオバナハイノキ
2014 年、徳之島でも初めて確認され北限種に。絶滅危惧Ⅰ類。

サツマイナモリ
関東～沖縄に分布。林内の湿気の多い場所を好む。

イジュ
梅雨の訪れを告げる花。昔は樹皮が魚毒として利用されていた。

アオノクマタケラン
徳之島に多く自生が確認されている。数年ぶりに開花を確認。

コンロンカ
南西諸島、台湾に分布。がく片の１枚が大きく発達し純白に色づく。花は黄色。

トカラアジサイ
トカラ列島、奄美大島、沖永良部にも生育。ガクアジサイの原種。

クチナシ
花の香りが芳しく、果実から採れる黄色の色素は食品に用いられる。

ついに！徳之島限定『地域の自然を守るタオル』登場！

ECO ひいきプロジェクト（太平電機株式会社）さんより、ウミガメシリーズに続いて新たなデザインのハンカチタオルが登場したのでお知らせいたします。

何と今回はアマミノクロウサギ第２弾なのですが、、、
徳之島中部の井之川岳周辺で目撃情報が多い足先の白いクロウサギ（通称：白たびウサギ）のデザイン！（これまでのタオル同様、安全・安心・高品質の今治タオル＆オーガニック草木染の肌に優しいタオルです♪）

第１弾のクロウサギとの違いも分かりやすいよう、足先が白いことに加えてポーズや表情も変え、タオルの色も男性にもお求めやすいグレーとなっております。

樋口社長の徳之島への熱い想いとこだわりが詰まったこのハンカチタオルは徳之島限定販売！この機会にぜひお買い求めください。

徳之島では
全６種類が販売
されています

【取扱店舗】ホテルグランドオーシャン、ホテルレクストン、ホテルサンセットリゾート、ダイマル、空港レストラン、カフェブルーTokunoshima、ジビエカフェとうぐら

今年もウミガメの季節がやってきました！毎年４～５月ごろになると、産卵のためウミガメが島内の砂浜に上陸し始め、５～９月ごろには産卵やふ化が見られるため、夏休みなどは親子で砂浜を訪れる方が多くなってきました。自然や生きものに興味関心を持つ方が増えるのは大変喜ばしいことですが、ウミガメは場合によって産卵を中断したり、上陸しても産卵せずに海に帰ってしまったりすることがあります。以下に**ウミガメ観察ポイント**をご紹介しますので、１頭でも多くのウミガメが上陸後に無事産卵し、子ガメが無事に孵化・脱出できるよう心がけて見守りましょう。

ウミガメ観察ポイント

砂浜に入る前に・・・

●赤色灯ライトを準備する。（電灯+赤いセロハン+輪ゴムでも OK！）
ウミガメは赤色（暖色系）の光の影響は受けにくいそうです。
赤いセロハンは文房具店や 100 円ショップ等で購入可能です。

●むやみに砂浜を照らしたり、大きな音を出したり、大声で騒がないように気をつけましょう。驚いたウミガメが産卵せずに海へ引き返してしまう場合があります。

観察の手順・産卵編

❶まずは、波打ち際でウミガメの足跡がないか探す。

❷足跡を見つけたら、その足跡をたどってウミガメを探す。

❸ウミガメが砂浜を移動、もしくは掘っているのを確認したら、静かに離れた地点へ移動し、産卵し始めるのを待つ。

❹産卵が始まったらウミガメの近くへ移動し、観察する。
※産卵の邪魔にならないよう静かに、撮影も最小限にする。
※産卵した卵は触ったり、別の場所へ移したりしない。

観察の手順・ふ化編

❶産卵場に着いたら、子ガメのふ化・脱出を待つ。
※都合のいいタイミングを見計らって出てきます。無理に掘り起こさないようにしましょう。

❷子ガメのふ化・脱出が始まったら足元に気をつけて観察する。
※子ガメを誤って踏まないように注意！！
※“バタバタスイッチ”（ふ化後、地上に這い出るとスイッチが入ったように手足をバタバタ動かして海へ向かい沖へ進む）は 24 時間で切れてしまいます。海までの道のりを邪魔しないようにしましょう。

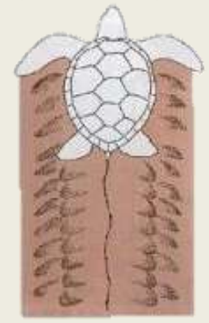
その他

※産卵シーズン(5～9 月)の浜への車の乗り入れなどはご注意ください。
※産卵箇所には印をしてありますので、触れないようお願いします。
※闘牛の散歩などは、水際を歩くなどの配慮をお願いします。

徳之島に上陸する主なウミガメは、アカウミガメとアオウミガメの２種類です。
足跡で見分けられます。

●アカウミガメ
左右の足を交互に動かすため、足跡は互い違いに残る。（クロール型）

●アオウミガメ
左右の足を同時に出して進むため、足跡は左右対称に残る。（バタフライ型）



イラスト：日本ウミガメ協議会